

ツバルブワンホール洗面混合栓の施工について

適切な使用条件

〔水圧について〕

給水・給湯圧力	最低必要水圧	最高水圧
	0.05MPa (流動圧)	0.75MPa (静水圧)

- 給水・給湯圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁などで0.2~0.3MPa程度に減圧してください。
- 給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。
- 給湯圧力は必ず0.05MPa以上にしてください。

〔給湯機について〕

使用最高温度	85℃以下
--------	-------

- 給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするために最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 誤作動などによるやけど防止のため、42~60℃給湯をおすすめします。
- 給湯に蒸気を使用しないでください。

〔水質・用途について〕

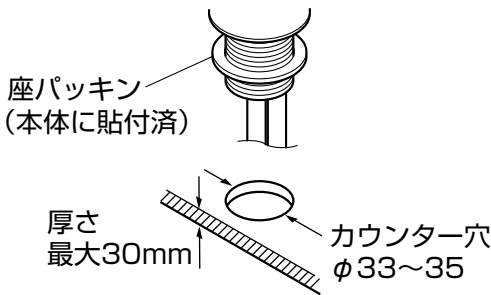
使用可能水質	水道水及び飲用可能な井戸水
用途	一般住宅用

器具の取付け

配管内の掃除……………取付前に必ず通水し、配管内のゴミを洗い流してください。

1 本体の固定

(1) カウンター穴の寸法の確認を行ってください。



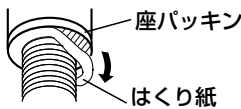
⚠ 注意

カウンターに厚みのない場合や、取付面が弱い場合は補強材などを設けて本体を確実に固定してください。

(2) 本体が正面を向くように固定し、給水・給湯パイプを止水栓などの取出し芯に合うように取出し曲げてください。

⚠ 注意

座パッキン裏面のはくり紙をはがし、本体をカウンターに押しつけて固定してください。

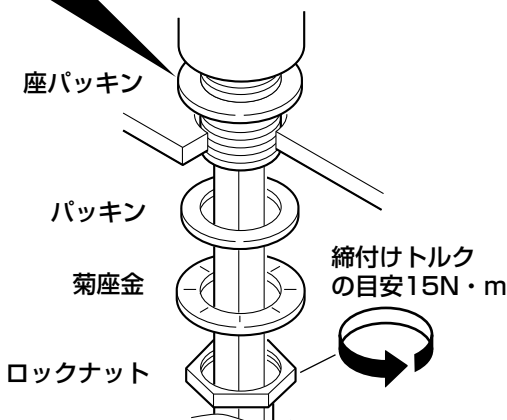
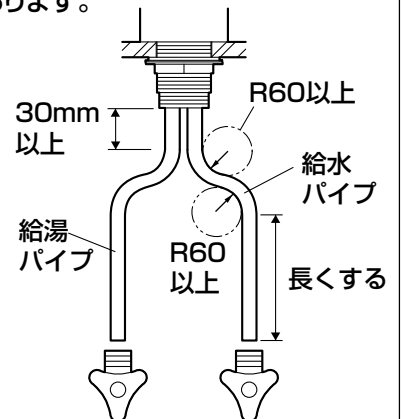


⚠ 注意

給水・給湯パイプ施工上の注意点

- 給水・給湯パイプの曲げは取付足端面から30mm以上のストレート部を確保して、その位置から曲げてください。
- 給水・給湯パイプを必要以上の力で曲げて折らないように注意してください。
- 給水・給湯ホースの折れにご注意ください。パイプの最小曲げ半径は60mmです。
- 給水・給湯パイプ同士の不要な接触は避けてください。摩耗による外傷でパイプ性能の劣化の可能性があります。
- 給水・給湯パイプを水栓本体端面から極端に屈曲して施工しないでください。
- 給水・給湯パイプを無理に引っ張らないでください。パイプが折れる可能性があります。

※上記注意事項は必ず守ってください。パイプが折れ、折れた部分で早期破壊を生じる可能性があります。



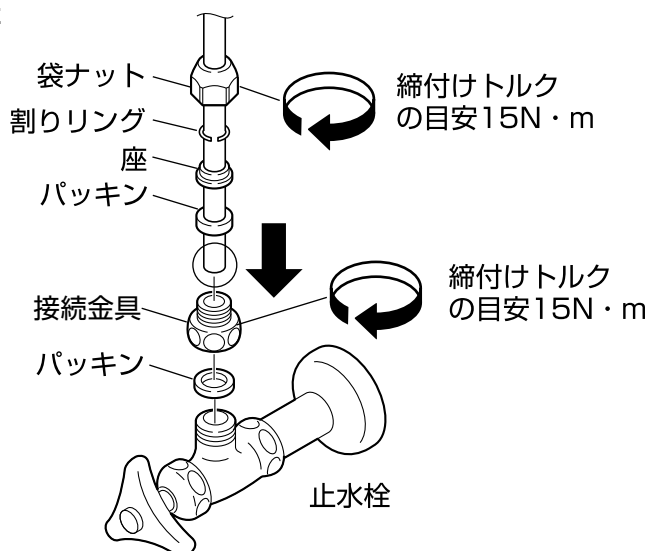
2 給水・給湯パイプの固定

- (1) 給水・給湯パイプの差込代の確保を行い、差込代の余った部分を切断してください。
- (2) 給水・給湯パイプを接続金具に確実に固定してください。

⚠ 注意

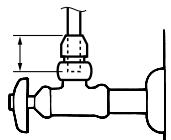
- 部品の順番をまちがえないでください。
- 給水・給湯配管の固定は確実に行ってください。給水・給湯配管の固定が不完全な状態で、給水・給湯パイプを接続するとはずれるおそれがあります。

給水・給湯パイプ



給水・給湯パイプの差込代

約25mm
差込代



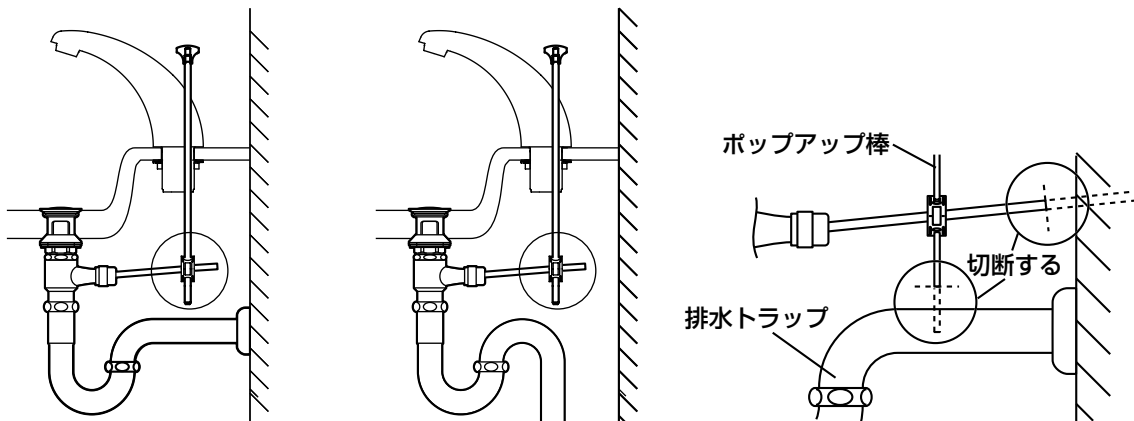
- パイプの切断にはパイプカッターをご利用ください。

3 止水栓を開いて水漏れをチェックします。

接続後、各部に水漏れがないか必ず確認してください。水漏れがある場合は、もう一度はじめからやり直してください。

4 水栓本体にポップアップ棒を取付けます。(ポップアップ棒穴付の場合)

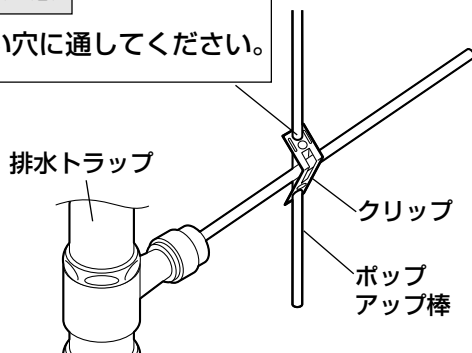
- (1) ポップアップ棒が壁や排水トラップに当たる場合は、適切な長さに切断してください。



- (2) ポップアップ棒と排水トラップをクリップで接続してください。

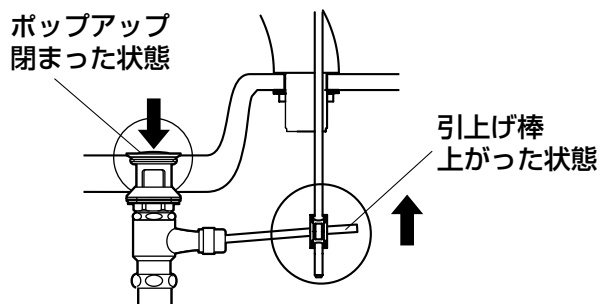
⚠ 注意

小さい穴に通してください。



⚠ 注意

排水トラップの引上げ棒が上がった(ポップアップが閉まった)状態でクリップを接続してください。下がった(ポップアップが開いた)状態で接続するとポップアップがスムーズに動きません。



- (3) 施工完了後、ポップアップ棒を動かして、取付足などの干渉がない事を確認してください。